

品97

新宿駅西口

信濃町駅南口

発

下車

アスリートの胃袋つかむ

小さなバス旅
次、
とまります

停ごとに止まりながら伊勢丹前を過ぎる。車窓の外はランチタイムの騒々しさ。車内はのんびりしている。



スポーツの取材で何度も通った国立競技場や神宮球場。行き慣れた所でも交通手段を変えると、違った景色が見えるかも。

10カ所目が信濃町駅南口のバス停。電車なら新宿から各駅停車で3駅だ。時間の流れが違った。それも、たまにはいい。

新宿駅西口からバスに乗った。東口側へぐるりと回り、新宿通りを東へ。バス

木々の緑がもえ立つ明治神宮外苑を歩く。見慣れた国立競技場の姿はない。2



水明亭の女将、本村律枝さん。店内にはアスリートらのサイン色紙が飾られている



看板メニューのちゃんぽん

020年東京五輪のメイン会場となる新競技場の建設に向け、すでに解体。フェンスの向こうで土煙があが

っていた。近くの「水明亭」へ。ほぼ満席だ。看板メニューのちゃんぽんを注文する。盛りだくさんの野菜、肉、カマボコ、ちくわ。昆布と削り節のだしであっさりしたスープは野菜の甘みと相性がいい。女将の本村律枝さん(73)の出身地、福岡・久留米の味だ。太めのちゃんぽん麺を豪快にする。

水明亭
(新宿区霞ヶ丘町11の2、03・34401・7462)
都営バス新宿駅西口発品川駅高輪口行き(品97)で約15分。「信濃町駅南口」バス停下車約3分。営業は午前11時〜午後2時。土日祝日は休み。



水明亭の入り口。明治神宮外苑の緑に囲まれている

本村さんの父親が割烹として開業。屋号は隣接する神宮プールの水泳と明治神宮の頭文字から取った。1964年の東京五輪では水泳の日本代表選手団に食事をふるまった。「忙しくて開会式も競技も見られなかった。でも、ファンファーレと空に描かれた五輪ははつきり覚えている」と本村さん。店は聖火リレーの最終走者、坂井義則さん(故人)の控室だった。

父が亡くなった後、食堂にした。陸上、サッカー、野球、ラグビー……。神宮外苑に集まる様々な競技施設。アスリートたちの胃袋を満たし続ける。
「あと5年は頑張らなくちゃ」。半世紀前と、5年後と。祭典の熱気を思い、本村さんは笑った。(辻健治)